

2020 年 06 月 02 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【次のテーマ（材料）を探しているように映る】

新型コロナウイルス問題は、本当は、まだ終わっていないのだが、マーケット（外国為替市場、金融市場）は、新型コロナウイルス問題から目をそむけて、次のテーマ（材料）を探しているように映る。

新型コロナウイルスに関しては、今後、第二次感染、第三次感染の不安要素は残っているのだが、日本を含むアジアでの感染拡大は、いったん収まったように見える。

欧州や北米での感染は、アジアでの感染よりも酷い状況だったが、当面のピークは越えた感がある。

しかしながら、南米やアフリカ、あるいはロシアなどは、これからも新型コロナウイルス問題が持続する可能性が高い。

それでも、目先のマーケット（外国為替市場、金融市場）は、特に、それを問題視している様子は見えない。

マーケットは、先を読む傾向が強いので、新型コロナウイルス問題終焉以降に目を向けて、次のテーマ（材料）を探しているのかもしれない。

あるいは、国際的な経済を考える際には、南米やアフリカの影響力は、相対的に小さいので、マーケットは、あえて、無視しているのだろうか？

この 2、3 か月の間に、世界の経済情勢は、大きく変化した、と考えます。

米国の失業問題を見ても、それは、壊滅的に悪化した数値であり、日本を見ても、緊急事態宣言で、景気の悪化は、これから顕在化する、と考えます。

現在のマーケット（外国為替市場、金融市場）は、それ（経済の悪化）を十分に理解した上で、成り立っている、と考えます。

しかし、今後の経済の悪化が当然に見込まれるにもかかわらず、一見、平穏に映る現在のマーケット（外国為替市場、金融市場）が、奇異に思えてなりません。

目先は平穏に映りますが、今後、世界的な大不況が来る可能性があることも、忘れずに臨みたい、と考えています。

+++++

（2020 年 06 月 02 日東京時間 14：20 記述）